

# 「刈谷市駅周辺地区市街地総合再生基本計画（案）」

## パブリックコメントの結果について

### 1 実施状況

- (1) 募集期間 平成31年2月1日～平成31年3月4日
- (2) 意見件数 5件（2人）
- (3) 提出方法の内訳 メール5件

### 2 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
1	(第7次総合計画の基本計画や第3次都市計画マスタープランの)計画年次が平成23～32年度であり、あと1年のタイミングで意見が反映されるのでしょうか。	本計画は、計画年次を2019年度から2028年度の10年間としており、第7次総合計画や第3次都市計画マスタープランなどの上位計画等を推進する中でみえてきたまちの課題解決を目指すために策定しました。 上位計画等の今後の見直しの際には、本計画の内容を反映させることで整合を図ります。
2	限られた財源を有効に公平に活用。刈谷市といえども今後何十年も成長していくとは考えにくい。	本地区においては、老朽建築物の集積をはじめとした課題が多数みられます。これらの課題を解決するためには本計画の実現効果や整備効果を考慮し、計画的にまちづくりに取り組む必要があります。 実施にあたっては、財政状況に配慮した事業推進を目指します。
3	かりや景観づくり、刈谷城再建、城下町のまちづくりとの整合は問題ないですか。	本地区の地区整備の基本方針は「駅前立地の利便性を活かした歴史と文化の薫るまちづくり」としています。 中心市街地まちづくり基本計画等の上位計画との整合を図りながら検討を進めます。
4	現在の刈谷駅南口のロータリーは手狭になっているのでは。連絡バスのバス停周辺は送迎車が混雑している。 これは計画時の想定通りではないのでは。 今回の地域では上記のような恐れがある箇所がないですか。	本地区の駅前広場等の公共による整備においては、駅利用者等の利便性と安全性の向上を基本方針に、再開発による整備効果も考慮した検討を進めます。
5	道路、川、用水等公共用地に隣接の住民のみが駐車場や畑等に使用する等で利益を受けることのないように配慮ください。	公共空間の充実を図り、地域住民はもとより市外から訪れる人にも利便性が高い、活気とにぎわいを感じることが出来る駅前空間の創出を目指します。